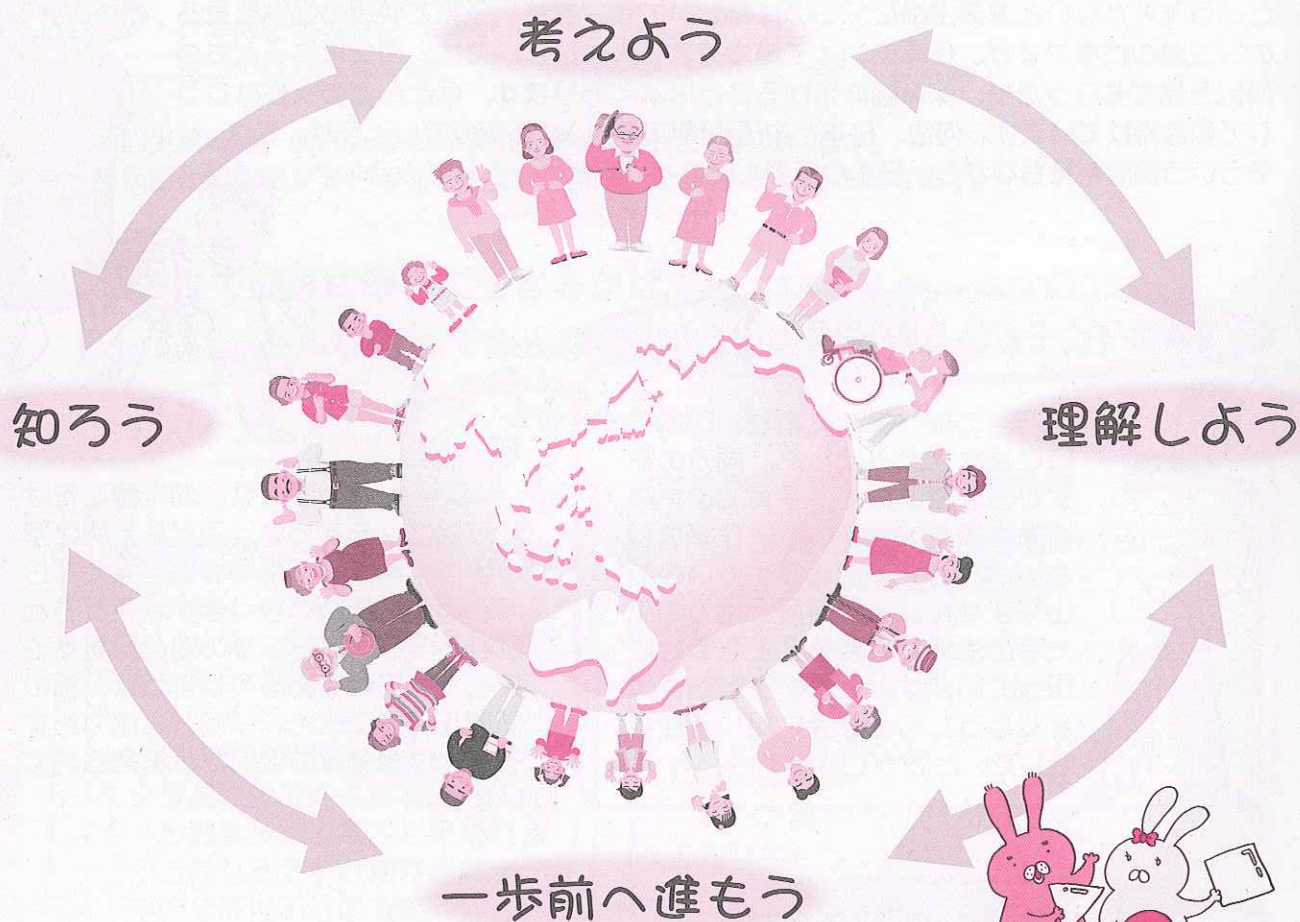


かけはし



誰もが性別にかかわらず多様な生き方が認められ
一人ひとりが輝いて生きられる社会の実現に向けて



ウィズに新しい仲間が誕生しました
これからもよろしくお願ひします

ウィーちゃん&ズーちゃん

1. 「隣の専業主婦」インタビュー
2. 周りの人はどのように育児の手助けを
 したらいいのでしょうか？
 祖父母の関わり方は？
3. 性別って女と男だけ？
 多様な性を考えよう

【編集・発行】

彦根市男女共同参画センター「ウィズ」

〒522-0041 彦根市平田町670

TEL/FAX 0749-24-3529

E-mail with.hikone@oboe.ocn.ne.jp

【編集委員】 江俊潔、伊藤実男、東幸子

2016年2月15日発行

2人の息子を持っている49歳のお母さん

23歳で職場結婚。息子が生まれ、産後1~2カ月後に職場に戻らなければならなかったため仕事をやめました。息子は事故に遭い障害があります。何故だと思いつめ落ち込んだ時もありましたが、喋れなくてもいつも明るい笑顔の子どもと、周りの人々からの励ましや支えもあり、今では満足した生活を送っています。子どもの障害で、辛い時期もありました。いろいろ考えさせられ、子どものリハビリも兼ねて、スーパーに行く道では、子どもと一緒にゴミ拾いを始め、子どもと一緒に出来ることを見つけています。子育てから、多くのことを学び、いつかこれを生かせればと心のどこかで望んでいます。

感想

とても辛いことに向き合い、子どもと一緒に頑張っ、この経験を生かし社会に貢献するという前向きな考えに心打たれました。

双子の大学生の息子がいる54歳のお母さん

26歳の時に職場結婚。夫の転勤で東京に行き、その後彦根に戻りました。元の仕事を続けるのは難しく、時間を自由に使えるようにパートで働いています。家のこと、自治会のこと、息子の試合の応援、息子の通う大学行事への参加、友人との旅行と充実した生活を送っています。今は子どもの結婚式に出席することが夢で、子どもに新しい家庭が出来るようにと願っています。

感想

中国でも夫の仕事関係で自分の働き方を選択しなければいけないケースが多いです。子どもの成長に合わせて、友達のような親子関係を維持するのはどこにでもある話ではありません。これは、家族みんなの理解、努力の賜物だと思います。



感想

60代になり、自分らしく生活を送れるのは素晴らしいことです。これは若い頃から、自分の将来像を描いて、頑張ってきた結果だと思います。

お琴が趣味の64歳の女性

25歳の時にお見合い結婚。すぐに子どもが生まれ、息子と娘がいます。結婚して職場が遠くなり、仕事をやめるかどうか結構悩みました。育児、家事をするのは当たり前のことだと考え、仕事はやめ自分自身のために内職をしていました。(洋服を作ったり、お琴を教えたり、自分の趣味やお友達との遊びのために)今は趣味でお琴をし、人にも教え、もっと大きな舞台に立てよう練習に励んでいます。地域の活動にも参加し、家庭の安定、家族の健康を願っています。

取材感想

今回のインタビューで、何故日本には多くの専業主婦がいるのか少し分かったように思います。それぞれの年代には違う社会背景があり、女性には自分が自由に生活様式を選べる環境が整っていない。また、個々の家庭事情にあわせた自分なりの選択をせざるを得なかったからだと思います。もし、家族や親、それを取り巻く地域、社会などが女性にとって生きやすい後ろだてとなれば、女性たちは仕事と家庭、子育ての両立ができたのではないのでしょうか。中国であっても、日本であっても、もっと女性が社会に活躍しやすい環境を提供できれば、違う風景が見られるのではないのでしょうか。

「隣の専業主婦」 インタビュー

中国から日本に留学した私には、驚くことがたくさんありました。その中の一つは日本にはたくさんの専業主婦がいることです。中国では、家庭の経済状況が大変良いという条件がないと専業主婦になるのは難しいです。また、子育てや親の面倒を見るのは主婦の仕事ですが、仕事をやめて専念できる人は珍しいです。祖父母に子どもの面倒を見てもらったり、保育園に預けることはよくあります。ほとんどの女性はこうして働き続けています。何故、日本と中国の間には違いがあるのでしょうか。私はそういう疑問を持ちながら、日本の専業主婦にインタビューをしました。



2人の子どもがいる29歳のお母さん



恋愛の末24歳で結婚し、26歳の時に長女を産みました。両方の実家からは遠いので、子育てのため専業主婦になりました。仕事はしたいけれど、子どもが小さいので出来ません。夫の理解と協力の下で今の生活ができることを幸せに思っています。ただ、子どもが大きくなったら、社会に戻り、仕事をしたいと思っています。

感想

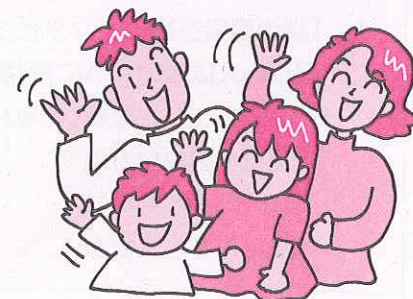
中国では、幼稚園に行ける年齢になるまでは、子どもを親に預けるか、親が家に来て面倒を見てもらうという選択肢になります。子どもと別れる辛さやどちらかの親と同居することでの不便はあるでしょうが、孫の面倒を見ることと、子どもに協力をすることは祖父母の役目だと考えられています。

一昨年に結婚した37歳の女性

大学を卒業後は、いくつかの会社で働きました。結婚前に事務員をしていた大学は働きやすい環境であったので5年間勤めましたが、結婚のため仕事をやめて彦根に来ました。今は洋裁や家事に専念しています。専業主婦になって、時間と心の余裕ができ毎日に生きがいを感じています。けれど社会からずっと離れていることに不安で、子どもが出来たら時間的に余裕がある職場で働きたいと思っています。

感想

中国では結婚して、専業主婦になるのは経済的な面や色々な面で恵まれた人だけで、一般的には結婚しても、仕事を続けます。



周りのひとはどのように育児に手助けをしたらいいのでしょうか？

働き方や職場環境はどのようになっているの？
仕事と生活の調和はどのようになっているの？
祖父母はどのように関わったらよいの？

育児と仕事の両立で悩む夫婦が多い現在、周りの人はどのように手助けをしたらいいのでしょうか。孫育てに一生懸命になるあまり、祖父母が仕事を辞めざるをえない例も目立ってきています。

孫育ては、祖父母にとって負担が大きく、家族のワーク・ライフ・バランスが重要になってきているのではないかと思います。



私たちが協力するので仕事は続けてほしい。

新聞記事の見出しに「育休を取ると出世に響くぞ」男性の育児に「パタハラ」(注1)の壁

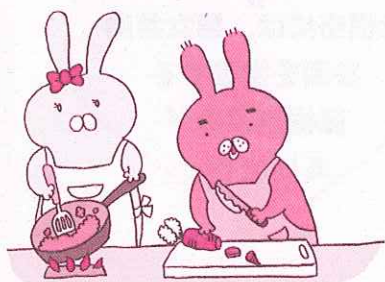
記事内容は、30歳代の男性が出退社の時間を自分で決められる職場のため、早朝に出勤し午後4時過ぎに退社し保育園に2児を迎えに行く。しかし50歳代の上司は、男性や周囲に「どんな理由があっても、後輩の相談や指導ができるよう、夜まで職場にいるべきだ」と話した。

男性は毎日「お先に失礼します」というのがストレスで、精神的に苦痛だった。

こうしたパタニティ・ハラスメント(パタハラ)被害の経験は、連合(注2)が2013年末に行った調査では、子どもがいる働く男性525人のうち11.6%だったという内容です。

(読売新聞 平成27年7月15日掲載)

(注1) 男性の育児休業などを防げる嫌がらせ
(注2) 日本労働組合総連合・・・1989年に結成された日本の労働組合の中央労働団体。加盟組合員約680万人。



平成27年夏に、こんな嬉しいニュースが県庁から発信されていました。三日月知事は公務時間を繰り上げる「ゆう活」(ゆうやけ時間活動推進)を実践し、午後4時頃に公舎に帰り普段はなかなか取れない書道の練習に臨まれ「今夜は家族と一諸に夕食がとれそう」と満足げだったそうです。

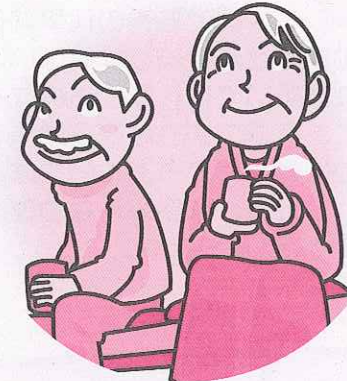
祖父母の関わり方は？

私は、戦前生まれの72歳。戦後の物の無い時代から、昭和の高度経済成長、所得倍増計画等の時代を歩んできました。働けば働くほど、給料も良く「夫は外で働き、妻は家を守るべき」との考え方が広まった時代でもありました。(資料1)

息子に子どもが誕生し、どの様に仕事と生活の調和を図っていけばいいのか、息子夫婦は悩んでいます。祖父母やまわりの人々はどの様に関わったらいいのか。男女が共に参画する「かけはし」はないのか考えてみようと思いました。

息子夫婦は悩んでいます

- 息子は育児休業制度等を利用しようか悩んでいます。(資料2)
- 息子の妻は育児休業制度を利用し、休暇が終わったら育児と仕事をうまく両立させる事ができるのか悩んでいます。



祖父母の役割

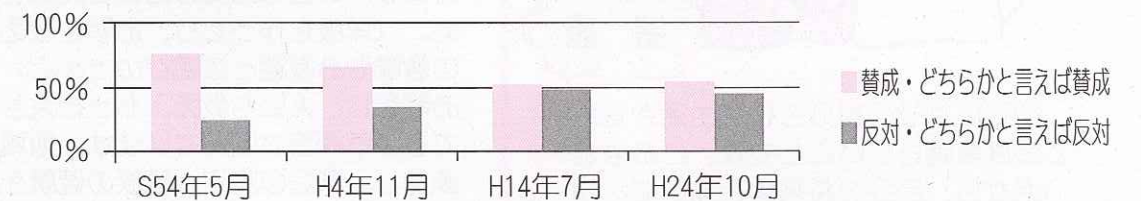
・・・イクジイ、イクバアになるべきか・・・

私は、子どもが小学校に入学するまでは、お母さんは子どもをみるほうが良いと思っています。二人が育児と仕事の両立が出来るように、「イクジイ」「イクバア」になるべきか悩んでいます。

少子化の現在、産休・育休等、女性の活躍を支援する制度が整い、社会は良くなってきているが、男性の理解と協力がない限り、女性の仕事や家事・育児などの負担軽減にはつながらないと思います。

《資料1》 性別役割分担意識調査 (男女共同参画白書 H25年版)

「夫は外で働き、妻は家を守るべきである」という考え方に関する男性の意識が「夫も妻も共に外で働き、お互いに助け合って家を守る」という意識になってきている



《資料2》 有業の夫の育児休業等制度の利用状況 (同上H26年版)

	利用なし (%)	利用あり (%)
有業の夫	89.4%	10.6%
雇用形態		
正規職員・従業員	88.6%	11.4%
非正規職員・従業員	90.8%	9.2%
会社員などの役員	91.6%	8.4%

6歳未満の子どもがいる世帯における有業の夫の短時間勤務や企業独自の制度を含む、育児休業等制度の利用状況

性別って女と男だけ？

「LGBTQ」に関することが新聞やテレビ、インターネットなどで報道されるようになりました。LGBTQとは誰のことでしょう。

- L・・・レズビアン (Lesbian) 同性に惹かれる女性
- G・・・ゲイ (Gay) 同性に惹かれる男性
- B・・・バイセクシュアル (Bisexual) 両性に惹かれる人 (性別2元論にのっとった場合)
- T・・・トランスジェンダー (Transgender) 身体や戸籍の性別に違和感があり違う性や性別を生きたいと望む人
- Q・・・クエスチョニング (Questioning) 自分の性自認等に確証がない人や迷っている人、決めたくない人



性的少数者は、国内人口のおよそ7.6%いると言われています。
異性愛か同性愛かということさえ邪魔であるという考え方もあります。

どの性で健康に幸福に生きるかは、一人ひとりの人権なのです。
みんな違ってみんないい!! と思いませんか？

※参考図書「女も男も」No.125 発行：勤労働教育センター

最近のニュースから

東京都渋谷区では、同性カップルに「結婚に相当する関係」の証明書を発行しました。

この証明により病気になったときに家族として扱ってもらえたり、生命保険の受取人になれたり、住まいの賃貸契約で家族と扱われるようになれることが期待されます。

都内では世田谷区でも「同性カップルの宣誓に基づく受領証の発行を求めた要綱」を施行しました。



彦根市男女共同参画計画が中間見直しされます

男女共同参画ひこねかがやきプランIIは、計画年度を2011年度（平成23年度）～2020年度（平成32年度）として平成23年3月に策定されました。

この計画では、「性別にかかわらず多様な生き方が認められ一人ひとりが輝いて生きられるまち ひこね」を目指しています。策定されてから4年が経過し、人々の意識や考え方も変化し、新しい課題や取組みも見えてきました。

また、私たちは、日本国内はもとより、外国の女性の置かれている立場にも心を寄せなければなりません。

現在、彦根市男女共同参画審議会において見直しのための議論を様々な立場の委員が参画して進めています。

多様な性を考えよう

私たちは、日常生活のあらゆる場面で性別を記入することがあります。例えば、様々な申込書やアンケート・・・。住所・氏名・生年月日・性別で個人を特定することが頻繁にあります。

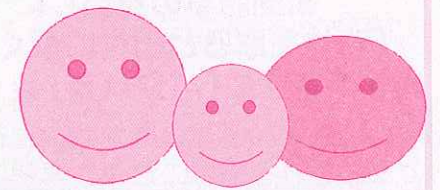
また、子どものころから性別を意識せざるを得ない状況に無意識に立たされてきました。人は、生まれると性別を女か男かを決定し（外性器で判断される）、出生届を市役所に提出します。その届に基づき戸籍簿や住民基本台帳に性別が記載されます。

毎日の生活に欠かすことのできない、お風呂やトイレ、更衣室をはじめ学校の制服や職場で与えられる仕事服など、いろいろなところで性別を意識します。

性別は、本当に女と男だけでしょうか、性別についてちょっと考えてみませんか？

「性別」は、グラデーション（連続的）です。性別の捉え方は大きく分けても次のようなことが考えられます。

- ① 身体的（生物学的）性別
- ② 自分が認める性別（心の性別）
- ③ 性的指向（性的にひかれる対象は？）
- ④ 外見の性別
- ⑤ 社会的な性別（ジェンダー）



性別も性的ありようも自分で選んだわけではありません。「そのようにある」ということではないでしょうか？ あなたはどうでしょうか？

男:女 で区分すると、どうしても優劣を持ち出すことがあります。その根拠に性器の違いを絶対と考える男女二元論があります。

それを絶対としてしまうと、性による差別（差別につながる区別）や排除につながってしまう恐れがあるのです。

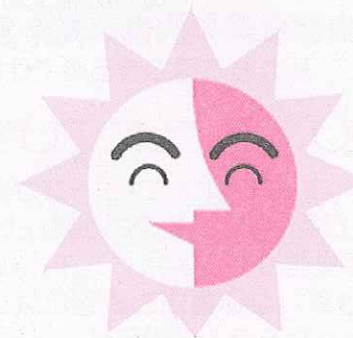
女とは〇〇である。男とは△△である。というくりに反感を持つ人は少なくはありません。

性別も性のありようも多様であり、多数派も少数派もその中でまた多様であると思います。

性別によって人はちがう存在になるわけではありません。

ひとくち メモ

彦根市には、男女共同参画を推進する彦根市条例があります。



第31回彦根市

男女共同参画 フォーラム

入場無料
託児有り

テーマ
戦後70年 時代を映すことば！
— 男女平等を求めて —

講師 源 淳子さん
(関西大学人権問題研究室委員長 研究員)

『探る男の関』
源 淳子 著

2016年2月28日(日)
ひこね市文化プラザ
メッセホール
彦根市野洲町187-4 TEL0749-26-8601

13時20分開演(13時~受付)

13:20 開会式
13:30 オープニング
「フォーラム実行委員会
よる〇〇〇」
14:00~15:30 講演

問合せ・申込
下記に

手話通訳
有り

主催:彦根市男女共同参画フォーラム実行委員会 共催:彦根市男女共同参画センターウィズ

その他ウィズ開催予定講座

- 共催事業「粋イキ講座」 2月26日(金)13:30~15:30
- ウィズ法律講座「知っておきたい相続の基礎知識 3月 5日(土)10:00~12:00
~残された人が困らないために~Part 2」
- プロに学ぶ料理教室 3月中開講予定

ウィズ開催の講座や事業は
毎月発行される
「広報ひこね」に掲載しています。

問合せ先 彦根市男女共同参画センター「ウィズ」 TEL&FAX 0749-24-3529